

豊かで 住みよい 町づくり

上勝

Vol.

98

議会だより

2025.8.1 発行

- 2P 第3回臨時議会
- 3P 第4回定例議会
- 4P 審議案件と議決結果
- 5P 主な質疑・討論
- 6P 一般質問 5名が町政について質問
- 11P 移動式捕獲鳥獣処理設備の稼働状況視察
- 12P 委員会等構成/議長就任・新人議員当選挨拶
- 14P まちのようす

撮影：前田議員

令和7年5月臨時議会 補正予算の主な内訳

第3回
臨時会

専決第4号 令和6年度 一般会計補正予算 (補正第7号)

補正額
(減額)

1億3,355万円

総額

33億2,812万円

開 会 期
会 令 1 日
令 令 7 年 5 月 15 日
和 7 年 5 月 15 日
7 年 5 月 15 日

主
な
内
訳

- 総務 ふるさと創生人材育成事業費
地域活性化補助金……………△759万円
集落再生事業費
上勝町美しい集落再生プラン支援補助金……………△824万円
- 民生 災害救助費
援助費……………△506万円
- 商工 商工業振興費
上勝町雇用推進事業補助金……………△1,260万円

専決第5号 令和6年度 国民健康保険(事業勘定)
特別会計補正予算 (補正第5号)

補正額
(減額)

4,320万円

総額

1億8,741万円

主
な
内
訳

- 保険 療養給付費
療養給付費負担金……………△3,300万円
高額療養費
高額療養費支給額負担金……………△650万円

令和7年6月定例議会 補正予算の主な内訳

第4回
定例会

令和7年度 一般会計補正予算 (補正第1号)

補正額
(追加)

2億8,689万円

総額

40億689万円

閉 開 会
会 会 期
令 令 9
和 和 日
7 7
年 年
6 6
月 月
20 12
日 日

主
な
も
の

- 総務 一般管理費
財政調整基金積立金 1億7,300万円
地域おこし協力隊事業費
遊ぶ広報 業務委託料 990万円
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業費
防犯カメラ設置 工事請負費(交付金) 809万円
物価高騰対策 お食事券発行事業補助金 500万円
不足額給付金(定額減税しきれない見込者へ追加) 3,400万円
- 民生 障害者福祉費
障害福祉システム標準化支援業務委託料 1,211万円
- 土木 公営住宅管理費
棚ヶ谷住宅修繕料 624万円

令和7年度 国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(補正第1号)

補正額
(追加)

1,254万円

総額

2億2,654万円

- 主なもの
・総務 一般管理費 国民健康保険システム改修業務委託料 509万円
・予備 予備費 697万円

令和7年度 介護保険特別会計補正予算(補正第1号)

補正額
(追加)

2,076万円

総額

3億5,867万円

- 主なもの
・総務 一般管理費 国庫・県支出金・支払基金精算返還金 1,041万円
・基金 基金積立金費 介護給付費準備基金積立金 959万円

令和7年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(補正第1号)

補正額
(追加)

185万円

総額

5,479万円

- 主なもの
・後期 後期高齢者医療広域連合納付金 保険料等負担金 131万円
・諸支 保険料還付金 過誤納還付金 54万円

令和7年

第3回上勝町議会臨時会 審議案件と議決結果

(第1日)令和7年5月15日(木)

○:賛成 ×:反対 ー:議長が賛否に加わっていない場合

議案番号	件名	質疑	討論	結果	片山政紀	新田勝憲	平原美和	関康昭	前田敏宏	日下一茂	岡本明	高石雅弘
議案第24号	専決処分の承認を求めることについて(専決第2号 上勝町税条例の一部を改正する条例について)	無	無	原案承認	○	○	○	欠席届	○	○	○	ー
議案第25号	専決処分の承認を求めることについて(専決第3号 上勝町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)	無	無	原案承認	○	○	○	欠席届	○	○	○	ー
議案第26号	専決処分の承認を求めることについて(専決第4号 令和6年度上勝町一般会計補正予算(補正第7号)について)	無	無	原案承認	○	○	○	欠席届	○	○	○	ー
議案第27号	専決処分の承認を求めることについて(専決第5号 令和6年度上勝町国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(補正第5号)について)	無	無	原案承認	○	○	○	欠席届	○	○	○	ー
議案第28号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	欠席届	○	○	○	ー
議案第29号	上勝町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	欠席届	○	○	○	ー
ー	徳島県後期高齢者医療広域連合議員の選挙について			選挙								

令和7年

第4回上勝町議会定例会 審議案件と議決結果

(第3日)令和7年6月20日(金)

○:賛成 ×:反対 ー:議長が賛否に加わっていない場合

議案番号	件名	質疑	討論	結果	片山政紀	新田勝憲	平原美和	関康昭	前田敏宏	日下一茂	岡本明	高石雅弘
議案第30号	上勝町重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第31号	令和7年度上勝町一般会計補正予算(補正第1号)について	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第32号	令和7年度上勝町国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(補正第1号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第33号	令和7年度上勝町介護保険特別会計補正予算(補正第1号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第34号	令和7年度上勝町後期高齢者医療特別会計補正予算(補正第1号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第35号	物品購入契約の締結について(新しい地方経済・生活環境創生交付金(地域防災緊急整備型)令和6年度繰越 上勝町飲料水給水車購入事業)	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
議案第36号	徳島県市町村総合事務組合規約の変更について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	ー
報告第37号	令和6年度上勝町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	無		報告								ー
報告第38号	株式会社かみかついっきゅうの経営状況について	無		報告								ー
報告第39号	株式会社上勝バイオの経営状況について	無		報告								ー
報告第40号	株式会社もくさんの経営状況について	無		報告								ー
報告第41号	株式会社いろいろの経営状況について	無		報告								ー
報告第42号	一般社団法人かみかつ森林環境公社の経営状況について	無		報告								ー
報告第43号	一般社団法人かつうら国土と未来振興協会の経営状況について	無		報告								ー
議案第44号	上勝町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	ー
ー	委員会の閉会中の継続調査について			承認	○	○	○	○	○	○	○	ー
ー	寄附の申し立てについて			報告								ー

主な質疑・討論

上勝町議会 第4回定例会

議案第31号

令和7年度上勝町一般会計 補正予算（補正第1号）

問 平原議員

物価高騰重点支援金について、防犯カメラ設置に大きな予算を立てているが、基幹産業である農業支援が見込まれていないのはどのように考えているのか。

答 佐々木産業課長

農業者支援よりも一般住民支援を優先した。農業支援は別の事業等で考えていく。

問 岡本議員

町制70周年記念事業業務委託先はどこか。

答 清井参事兼企画環境課長

上勝町70周年及びゴミステ

ーション5周年を、ビッグアイカンパニーと共催し実施したい。

問 岡本議員

集落再生事業費の移住ポータルサイトの委託先はどこに。また地域おこし協力隊事業費の遊ぶ広報業務委託先はどこに。

答 清井参事兼企画環境課長

移住ポータルサイトリニューアル業務委託は、町内の事業所に見積り徴収しやうていく。遊ぶ広報業務委託は、株式会社石見銀山地域経営研究所と協議を進める。

問 岡本議員

防犯カメラ設置工事のメリット・デメリット、要望に至る経緯を説明いただきたい。

答 清井参事兼企画環境課長

物価高騰の影響が増加する中で、空き巣等の防犯意識が

高まっている。その防犯対策を強化することで地域住民の安心・安全を守る一つの手段になると考える。

問 岡本議員

以前空き巣被害が多発した際、カメラ設置補助の提案には対応がなかった。設置場所を藤川橋とゼロ・ウェイストセンターに設置予定だが、再検討してほしい。

答 清井参事兼企画環境課長

設置場所については、一番下手側では、ハードディスク等の管理をするための建物として高鉾公民館を選定している。もう一台を町内で最も人の動きがある福原を選んでいく。

議案第35号

物品購入契約の締結について（新しい地方経済生活環境創生交付金、令和6年度繰越上勝町飲料水給水車購入事業）

問 日下議員

断水のときも使えるとの説

明があったが、各家庭にポリタンクを用意してもらうのか。

答 久保総務課長

水を配る方法については検討していない。災害時には、給水袋を購入しているので、配るような体制をとりたい。

問 岡本議員

購入してから使用方法を考えるのでは、軽率な購入ではないのか。災害時以外でも使っていたきたい。

答 久保総務課長

メインの購入は災害時の住民の給水である。断水の時に、必要に応じて給水車を利用したい。

問 岡本議員

どこで満水にするのか。どのくらい時間がかかるのか。

答 久保総務課長

災害時は水源地や、壊れていない配管を利用し給水したい。また、キンクサインと協定を結んでいるので、そこで

給水することも考えられる。時間は、一概に何分かかるとは答えられない。（確保できる水量による）

問 平原議員

メンテナンスや維持管理の費用はどの程度か。

答 久保総務課長

徳島市の水道局によると、10年15年は、消耗品の交換のみで、大きな修繕等はないらしい。車検代や保険料はその都度必要である。



問 1 学年理想の生徒数は

教育長

教室環境から考えると10人から15人である



新田 勝憲 議員

持続可能な義務教育について

問 小学校の規模からして1学年理想の生徒数は。

答 立川教育長

徳島県教育委員会の規定は1・2年生合計で9名以上それから3年生以上2学年合計で16名以上の児童がいないと複式学級とする事が定められており、上勝小学校の教室環境から考えると10人から15人程度である。

問 持続可能な義務教育を行なう為の対策は。

答 立川教育長

上勝小学校、中学校の特色、メリットについて静かな環境で小人数での学習を行なうことができ、彩やゼロ・ウェイストといった地域資源にも恵まれた上勝町では、少人数の中で自己実現のできる子供たちが輝ける場所である。上勝町が持つ良い点を、他校との交流学习

またはデュアルスクールやホームページなどを用いた広報活動によって県下周辺地域へと広めることで、上勝町に魅力を感じ共感してくれる児童・生徒を迎え入れる事が現在ではできている。

中学3年生道徳の教科採用について

問 令和7年度中学3年生の道徳の教科書に、ゼロ・ウェイストの町、上勝町の見出しでゼロ・ウェイスト宣言が紹介されているが道徳の教科書として採用したか。

答 立川教育長

上勝町が採用しているあかつき図書の中学3年生の道徳には教科書として採用している。

問 教育者として考えるゼロ・ウェイストの町とは。

答 立川教育長

上勝町は環境問題を率先して取り組んでいる町

である。

学校教育において小・中学校一体で学びを深め、さらに学び終えた個人が上勝町外において周囲を巻き込んで学びや思いを深めていく取組を続けていくことが必要だと考えている。

申請書作成支援システム導入について

問 役場窓口で負担軽減のため、申請作成支援システム導入を高齢者・障がい者を念頭において検討して頂きたい。

答 三原住民課長

申請作成システムは住民基本台帳のシステムに搭載されているものしか対応していないため、別システムの介護保険・後期高齢者医療保険等は引き続き申請書類へ記入が必要。職員による代筆等システムに頼らない支援で対応する。

相続登記の義務化について

問 令和6年より家屋・土地の相続登記が義務化となり相続登記の期限は3年以内となっているが町として告知は行ったか。

答 山口税務課長

相続登記の義務化についての周知を令和6年4月号と9月号の広報紙に掲載し、固定資産税納付書発送時にチラシを同封した。

問 相続登記が行われていない家屋・土地は何軒あるか。

答 山口税務課長

法務局で法定相続人を探索する作業、長期相続登記等未了土地解消作業を実施している。法務局で実施しているため、本町では把握していない。

問 相続登記が行われていない空き家の改修を行うとき、補助金の対象外

でよい。

答 清井参事兼企画環境課長
相続登記が行われていない空き家の改修については、補助の対象外である。

アメゴ養殖業の取り組みについて

問 アメゴ養殖業者の高齢化が進み、消滅の危機に直面していると危惧しており、アメゴ養殖の継続、後継者育成対策は。

答 佐々木産業課長

徳島県で進めている「当地サーモン、阿波さつきの影響もあり、アメゴの人氣も高まってきている。近年、高齢化や飼料を含む物価高騰の影響で廃業を検討されている方もいる。また、近年きれいな水を確保する事が困難となっており、新たにアメゴの養殖を始めるには水利権の問題、設備投資が必要であり、新たに事業を開始する事は困難である。



日下 茂 議員

問 その後の鳥獣よけネットの助成金は

産業課長

役場産業課までお問い合わせを

鳥獣よけネットについて

問 鳥獣よけネット助成金はその後どうなっているのか。

答 佐々木産業課長

平成20年から26年までの間、22地区、約90kmの侵入防止柵を設置し管理していた。助成金は現在も国の補助事業がある。受益戸数が3戸以上必要である事、費用対効果が見込める事等の条件があるが、耐用年数が過ぎた現在のネットは費用対効果の算定に含める必要はないので受益戸数が3戸以上あれば再度柵の整備はできると想定しており、詳しくは担当課まで問い合わせを。



鳥獣よけネット

イベント送迎バスについて

問 イベント等の時、何人位の集客があり、そのうちの何人位が送迎バスを利用しているのか。

答 高橋教育委員会 事務局長兼支所長

送迎バスの利用状況は高齢者教室1回につき、数名の方が福祉バスを利用している。高齢者教室は令和6年度の実績では

平均20名程度の参加である。

問 送迎バスに乗りたいが指定の乗降場所まで行けない。

答 高橋教育委員会 事務局長兼支所長

県道沿いの乗降であれば利用者の要望に応じていきたい。

問 現在、有償ボランティアタクシーの金額は。

答 三原住民課長

有償ボランティアタクシーの料金は、
・小型車初乗り300円/km、以降は180円/km。
・大型車初乗り370円/km、以降300円/km。
※郡外の迎車は別途。
・小型車500円。
・大型車は1,000円。
待機料金や夜間は2割増しの設定である。



福祉バス

問 利用料金をもっと安くできないのか。

答 花本町長

タクシー料金の8割となっているので安く利用して頂いていると思う。以前は半額であったが、ガソリンの高騰等で値上げをした。車を持っていない方、乗れない方が65歳以上であれば年間24,000円のボランティアタンシー券を渡しているのを利用して欲しい。

要望 住民が1円でも安く利用できるように、十分検討していただきたい。

公のトイレについて

問 日常生活が洋式化になりつつあるので公のトイレも洋式にしてはどうか。

答 久保総務課長

上勝町内に公のトイレが108ヶ所ある。その内、洋式は53ヶ所。有利な補助金があれば活用し、洋式化できるよう検討する。



公のトイレ

問 被災町民の救済措置は



片山政紀 議員

町民が被災したときの町の救済措置について

問 先日、町内で起きた火災のような大規模災害時以外で、町民が被災して住居等が消失した場合において、町としてはどのような救済措置を考えているか。

答 三原住民課長

救済措置としては、住宅全焼の場合の見舞金及び見舞品として、

- ・町から3万円
- ・県から2万円及び毛布
- ・赤十字より2万円及び毛布並びに救急セット

が支給されている。

災害に遭われた方の一助となるよう、町の見舞金ほもとより、県及び赤十字に対して迅速な手配等を行い、早急に支給できるように努めている。

問 高齢で単身の生活者の多い上勝町で被災した場合、住居等を失われた方が、町内で住み続けたという希望を持っている場合において、住む場所の確保が一番になってくる。

そうした場合において、可能な施策を最大限活用して、被災者に寄り添い状況に応じた配慮をしてもらいたい。

そうすることが、町長

が今掲げている、住み続けたいまちづくりに繋がると思うが、どうか。

答 三原住民課長

被災して住居を失った方に対しての配慮としては、まず本人や家族の意向を確認した上で、町としてできる限りの支援を行っている。

具体的には、町営住宅や町内のケアハウスの空き状況等を確認して、入居を希望する場合は、で

きるだけ早く入居できるよう支援を行っている。

要望 一般の基準では難しいかもしれないが、災害を受けて町営住宅では生活の場所として厳しい方に対してのケアをして

いただきたい。

町内に在住している児童の語学力向上について

問 上勝町では現在、多くの移住者がいるが、その中には優れた語学力を持った方も大勢いると認識している。

その方たちに協力を願って、町内に在住している子供の語学力の向上を試みてはどうか。

答 立川教育長

現在上勝小学校では次のような取組を行っている。

小学校では、本来外国語活動とは英語科を選択しており、授業は文科省と県教委の指導では3年生からとなっているが、上勝小学校では1年生から英語活動を行っている。

また週2回、各学年においてALTによる指導を行い、小学校全体では週に12回の授業が行われている。

このことから、小学校の英語科の学習、英語活動は目的を達成している。もちろん多文化共生とか、多文化理解の観点から英語圏以外も必要かと思うが、学校の現状から考えると、授業の中では非常に難しいと考える。

問 授業では難しいの考えだが言葉に慣れるというような、勉強という観点でなく普通の会話の中で興味を持てる様なことも、今後考えてもらいたい。

答 立川教育長

学校の中で行うことが難しいということであって、その他のところで、今行われているような活動は、非常にありがたいと思っている。





平原美和 議員

鳥獣害焼却炉の試運転において安全面は

産業課 問題はない

TOKYO TORCH Park
ゼロ・ウェイスト
PRイベントについて

問 6月広報紙の表紙を飾ったが、昨年からの今年の開催へと結びついた結果は、

答 清井参事兼企画環境課長
約8,300人の来場があり、SDGsの観点から企業からの関心が高い。民間企業において横展開が期待できる状況も生まれてきた。上勝町が発信するゼロ・ウェイストが広がりを見せている。

問 今回のイベント参加を移住促進や関係人口拡大へつなげるのか。

答 清井参事兼企画環境課長
本年度はLINEの移住交流支援センターのアカウントを用いて、来場者へアンケート調査を行ない、回答者にはホテルWHYの宿泊割引をLINE上で配布し、来町につながる動線づくりを実施。また、イベントや仕事、協力隊募集などの情報発信をして、継続的なつながりをつくっていく予定だ。

問 企業と連携し、持続可能な環境施策の取組を積極的に取り入れ、責任あるまちづくりの推進による、次世代に向けて価値ある持続可能な取組を進めていく。

問 ゼロ・ウェイストは町民一人一人の日々の実践に支えられた理念だ。企業との連携と同じ重さで、町民との連携の在り方を。

答 清井参事兼企画環境課長
本年度は希望する高校生3名の参加があった。自分達がふだんやっていることが社会に与える影響を実感してもらえたと思う。それがビジネスにつながることで、誇らしく感じることで、子どもたちが町へ帰ってきたり、ゼロ・ウェイストに魅力を感じる移住者を受け入れられる土台づくりとしていきたい。

要望 町民のイベント参加の機会の検討を。

図書室の利用状況と改善を

問 図書室の利用状況は、限られた開室時間はどう影響していると考えるか。

答 高橋教育委員会事務局兼支所長
利用は月5名程度。貸

出冊数は1人3冊程度。働く世代や学生にとつて十分な環境とは言えない。勝浦図書館の利用や、県立図書館の取り寄せサービス、また県内市町村図書を取り寄せることもできるので利用を。

問 子どもたちの読書・学習環境とした図書室の役割・ニーズについてどう位置づけているか。

答 高橋教育委員会事務局兼支所長
読書活動は生涯学習の一環と位置づけられ、社会教育の観点からも重要な施設と考えるが、子どもの図書活動の振興を重視すれば、図書室の1、2割の児童書に比べ、学校図書室のほうが、年代に応じた本が備えられている。

問 自主・学習スペースを欲する要望に応えるため、図書室の活用を。

答 高橋教育委員会事務局兼支所長
役場支所内の図書室はひと月の半分程度を会議室として利用しているため考えていない。

農業者支援について

問 上勝町の基幹産業で

ある農業は、持続可能な地域社会の構築に重要な役割を果たしている。しかし現場では高齢化とともに、繁忙期の人手不足が深刻だ。全国的に広がる農業マッチングアプリやお手伝いサイトなど、短期的な人手不足を補うための新しい仕組みの導入を町として支援できないか。

答 佐々木産業課長
サイトによって様々な条件が異なり、また登録情報も詳細に必要となる。各事業者で調べてほしい。

問 短期労働者受け入れの宿泊施設が不足している。空き家改修や民泊制度の支援や整備が求められるのでは。

答 佐々木産業課長
町で準備できる短期滞在用の宿泊場所は、シェアハウス（正木）、小学校対岸の旧教員宿舎を短期滞在向けに改修した藤川宿泊施設。

上勝阿波晩茶協会では、民家を借りて宿泊所として利活用。板野町では、受け入れ農家が共同で購入した古民家を改修してシェアハウスとして利用している事例もある。町

としては、短期滞在者向けに空き家改修も民泊も制度上実施できない。

問 農家と労働希望者をつなぐ制度を、町が窓口となり調整できないか。

答 佐々木産業課長
条件、要望、苦情等、適宜対応していく業務を、本町の職員に対応する余力はない。そのため、かみかつ事業協同組合の設立のお手伝いをした。同組合は無料職業紹介者としても、今後とも頑張っていたきたい。

鳥獣害焼却設備について

問 試験的運用がはじまったが、どの程度のデータが取れたのか。また安全面は。

答 佐々木産業課長
5月に納品され、7回の試験的運用を行った。約30〜50キロの鹿やイノシシを計7頭実証して、処理にかかる時間を計測し、その中で冷凍・冷蔵で保管している個体の燃焼所要時間の差についても試験している。安全面については、周辺機器への影響はなく、臭気も特に大きな影響はない。

問 集落支援事業費の増額を



岡本 明 議員

町長 今のところ考えていない

集落支援事業費について

問 住民の中では、未だに「減らされた、減額された」という間違った情報で記憶されている。もう一度、説明をお願いしたい。

答 清井参事兼企画環境課長

特別交付税の算定基準について、県より指摘を受けたため。特別交付税は、集落支援員一名当たり40万円と設定。以前は、事業未実施、または限度額に満たない集落分を他集落へ充当する事で100万円としていたが、充当してはいけないと指摘があったため。現在は、補助金の限度額50万円と集落支援員報酬の5万円の計55万円を、特別交付税40万円と町負担15万円で実施している。

答 花本町長

今のところ、考えていない。

問 以前は、検討すると

いう話であった。検討は一切せず、これ以上増やす、補助するつもりもないとの事でよいのか。

答 花本町長

今のところ、考えていない。

要望 多くの住民が、増やして欲しいと願っている。今は、増やすつもりがなくても、本当に増額出来ないのか、工夫次第で増額出来ないか、もう一度住民のために努力と検討をしていただきたい。

桜の苗木に補助金を

問 10年、20年先を考え、上勝町も、桜の有名な観光地を目指すため、桜の苗を買う補助金を付けてはどうか。

答 佐々木産業課長

公益財団法人日本さくら会が実施する宝くじ桜寄贈事業を活用する事ができる。

ボランティア活動保険を四月からに

問 昨年、住民座談会の

中で、町内一斉清掃の参加者に掛けていたボランティア活動保険を、他のボランティア活動にも使えるように、4月1日から掛けて欲しいと要望してあったが、その後の取り扱いはどうなったか。

答 清井参事兼企画環境課長

令和6年に実施した町内一斉清掃に参加いただいた方については、4月3日に保険加入手続きが完了、町広報4月にも掲載した。地区ごとの名簿については、名総代宛に送付している。

問 広報掲載後、加入の相談はあったか。

答 清井参事兼企画環境課長

問い合わせはないが、今年も一斉清掃を実施したいので、新たに参加される方については、加入日から3月31日まで掛かるよう手続きする。

町独自でも鳥獣ネットの補助を

問 鳥獣ネットも古くなり、前のように、国の補助金を使うのも一つの方法かもしれないが、その

場合は、3人の名前が必要となる。畑の管理者がいなくなるなど、以前とは状況が変わってきている。上勝町独自で、個人でも対応できるようにするべきではないか。

答 佐々木産業課長

どうしても、国の補助要件に合わない場合は、個別に協議し、検討したい。

福原地区

問 以前から要望している横田様宅前のガードレールの取り付けはどうなっているのか。

答 笹尾建設課長

当初予算に計上し、発注に向けて準備している。

旭地区 葛又

問 時本様所有のゆず畑を横断しているU字溝が錆びて腐り、底も抜けている。前課長に現場確認はしていただいていたが、数年が過ぎた。その後の進捗状況は。

答 笹尾建設課長

前課長より引継ぎが出

来ておらず、県に現地を確認してもらうよう、すぐに依頼をした。

生実地区 大北

問 以前より、農協の堆肥場までの道路舗装を要望していたが。

答 笹尾建設課長

未舗装区間の勾配がついている区間については、国の交付金を活用し、令和8年度、9年度にコンクリートの路面工が出来るよう、申請を予定している。

※その他

- ・町ホームページのネットセキユリティについてくるくるハウスの委託管理への要望
- ・傍示住宅、川側の柵の修繕の要望
- ・中津住宅の防音工事の要望

要望

- ・町長の給与の見直し
- ・福川地区、消防道の追加と整備の要望
- ・旭地区、堀田様宅前県道の沈下についての改善要望
- ・小学校の網戸の取り付けについて

の質問をした。

移動式捕獲鳥獣処理設備の稼働状況視察について

6月27日13時から、福原字下横峯・旧上勝公民館上の役場駐車場において移動式捕獲鳥獣処理設備（稼働状況）の視察を産業建設常任委員会で行った。参加者は役場より、重田副町長、産業課から佐々木課長、森積課長補佐、長岡主事、議会より議員全員と多田事務局長であった。

今回の実験では、数日前に捕獲され、冷蔵庫で保存されていた鹿（約20kg）を焼却した。

13時05分・2次燃焼装置のスイッチ入れ加熱開始

13時30分・1次燃焼装置のスイッチ入れ700℃で鹿焼却開始

14時30分・1次燃焼停止して炉内冷却

14時45分・炉の扉を開けて状況確認

今回の燃焼時間は1時間であったが、鹿の大きさや保存状態により燃焼時間に違いがあると説明を受けた。

状況としては、1次燃焼で鹿を焼き、2次燃焼時に800℃以上で煙を焼き切ることにより、煙が出なく、臭いも無いことが確認できた。

炉の壁面温度を確認したが、手で触れても心配のない温度だった。

従来の埋設処理よりは、焼却処理をする方が狩猟者にとって労力の軽減になると思われる。



設備の操作説明



移動式捕獲鳥獣処理車

費用としては、1頭当たり3000円は狩猟者の負担になるが、実質は4770円（計算上）掛かるので残りは町が負担する。

現在、高齢化等により狩猟者の数が減少する中、移住者が狩猟免許を取得しても、埋設処理する場所がなく捕獲出来なかったが、この機械の導入により処理方法の選択肢が増え可能になる。

今後、処理負担の軽減や衛生的な処理が可能になることに伴い、新規狩猟者が増え、捕獲活動が拡大して、鳥獣被害が減ることを期待する。

上勝町議会正副議長 委員会等構成

■議長・副議長

議長 高石雅弘 (令和7年5月15日～)
副議長 前田敏宏 (令和6年1月10日～)

■議会運営委員会

委員長 前田敏宏 (令和6年1月10日～)
副委員長 平原美和 (令和7年5月15日～)
委員 関康昭 (令和6年3月19日～)
委員 片山政紀 (令和7年5月15日～)

■総務常任委員会

委員長 平原美和 (令和7年5月15日～)
副委員長 岡本明 (令和7年5月15日～)
委員 前田敏宏 (令和6年1月10日～)
委員 新田勝憲 (令和7年5月15日～)

■産業建設常任委員会

委員長 日下一茂 (令和7年5月15日～)
副委員長 片山政紀 (令和7年5月15日～)
委員 高石雅弘 (令和7年5月15日～)
委員 関康昭 (令和6年1月10日～)

■議会広報調査特別委員会

委員長 岡本明 (令和7年5月15日～)
副委員長 平原美和 (令和6年1月10日～)
委員 日下一茂 (令和6年1月10日～)
委員 高石雅弘 (令和7年5月15日～)
委員 前田敏宏 (令和6年1月10日～)
委員 関康昭 (令和6年1月10日～)
委員 新田勝憲 (令和7年5月15日～)
委員 片山政紀 (令和7年5月15日～)

■デジタル化推進特別委員会

委員長 平原美和 (令和6年1月10日～)
副委員長 関康昭 (令和6年1月10日～)
委員 岡本明 (令和7年5月15日～)
委員 日下一茂 (令和6年1月10日～)
委員 高石雅弘 (令和6年1月10日～)
委員 前田敏宏 (令和6年1月10日～)
委員 新田勝憲 (令和7年5月15日～)
委員 片山政紀 (令和7年5月15日～)

■小松島市外三町村衛生組合議会議員

議員 高石雅弘 (令和7年5月15日～)
議員 前田敏宏 (令和6年1月10日～)

■議会選出監査委員

監査委員 岡本明 (令和7年5月15日～)

議長就任のあいさつ



上勝町議会議長

高石雅弘

今年の梅雨は、例年になく早く明けました。

毎日暑い日が続いておりますが、皆様方には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、5月15日に開催されました臨時議会におきまして、議員多数のご推挙を賜り、上勝町議会議長に就任させていただきました。身に余る光栄とともに、その責任の重さに、身の引き締まる思いです。

上勝町は「彩」や「ゼロ・ウェイスト」の取り組みで全国的に知られるようになりました。これは、町民の皆様一人ひとりの意識の高さ、また豊かな自然と共存するという強い思いの表れであると思います。

これからの議会運営において

は、町民の皆様の声に耳を傾け、その想いを町政に反映させるべく中立の立場から公平公正かつ、透明性の高い議論を心がけてまいります。特に、農林業中心とした地域経済の活性化、子育て支援等、多くの課題に対し、町民の皆様と行政、議会が一体となつて知恵を出し合い、解決策を見出すことが重要であると考えています。

微力ではございますが議長として、上勝町のさらなる発展のため、全身全霊で頑張る所存です。町民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

今後とも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

上勝町議会補欠選挙当選ご挨拶



片山 政紀

暮夏の候、町民の皆様におかれましてはご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

4月の町議会議員補欠選挙におきましては、多くの皆様のご信託を賜りまして初当選をさせて頂くことができました。心より感謝申し上げます。

私は、これまで培ってきた農業の知識を通じて、持続可能な中山間地域の町づくりを目指してまいります。

そして、美しく豊かな自然と温かい地域のつながりのある上勝町の魅力を次世代にしっかりとつなげてまいります。

また地域の皆様のお声に真摯に耳を傾けて、一つ一つの課題に精一杯向き合ってまいります。

まだまだ未熟ではございますが、上勝町の未来のために、誠意と情熱をもって努めてまいりますので、今後とも温かいご支援、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



新田 勝憲

暑さ極まる頃となりました。毎日どの様にお過ごしでしょうか。

去る、4月の上勝町議会補欠選挙におきましては、皆様方のあたたかいご支援を賜り当選することができました。町民の皆様には心よりお礼申し上げます。

さて、上勝町では少子高齢化、高齢化による担い手不足及び後継者不足、空き家問題等が深刻な状況となっておりまた、上勝町は55の集落で構成され、その内限界集落が7割近くあると考えられ、今後集落の維持が大きな課題となります。

各諸問題を先輩議員と共に解決に向けて取り組みたいと思っております。

私は「子と孫が暮らせる町づくり」を基本とし、次の世代に繋いでいく政策を提案し、町民の皆様が「子育てしやすい町」・「住みよい町」・「笑顔のある町」に変わったと思って頂ける町づくりを目指して参ります。

今後とも町民の皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



岡本 明

過日の補欠選挙におきましては、皆様方のお力添えをいただき、再び議員として活動させていただける事になりました。温かいご支援、心より感謝申し上げます。目まぐるしく変化する社会情勢の中、上勝町が抱える課題は山積しておりますが、行政との連携を図りながら、将来に希望の持てる町づくりに向け、全力を尽くしてまいります。

また、皆様の声が町政に反映されるよう、知恵や経験をお借りしながら、精一杯務めさせていただきます。

今後とも、ご支援、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。





晩茶摘み(旭)



勝浦川鮎の放流(福原)



祝寿会(旭)



田植え(生実)



鮎



八重地区棚田 朝日の風景



彩公園草刈(藤川)



彩公園草刈(藤川)

編集後記

上勝町長選挙と議会議員補欠選挙も終わり、花本町政の4期目が始動。議会も私と、新人議員を含め、スタートしています。昨年6月より、町民の皆様にご心配とご迷惑をおかけしていた、移動式焼却施設については、試運転の視察も行いました。稼働中の臭いも全く無く、想像以上の設備であり、7月22日より運用が開始されました。議会内の構成も新しくなり、数年ぶりに議会広報委員長をさせていただく事になりました。初心に帰り、読みやすい、分かりやすい広報を作って行きたいと考えております。

広報の内容について、ご意見等ございましたら、私まで、よろしくお願い致します。

まだまだ暑い時期が続きます。水分をこまめに摂り、熱中症には十分お気を付けてください。

(岡本)

